



いきいき集会～企画委員会～

今朝20日(木)のいきいき集会は、企画委員会が委員会の活動の様子を発表してくれました。企画委員会は、いきいき集会の運営を行ったり児童会目標などを作ったりしてくれます。まず、いきいき集会は「4つの心」を伸ばすために行うという目的を再確認しました。いきいき集会では、司会、はじめの言葉、おわりの言葉、インタビュー、誘導のそれぞれの役割を練習していきいき集会に臨んでいるそうです。そして、話は心と目と耳で聞いて欲しい、インタビューではたくさん手を挙げて欲しいと訴えてくれました。また児童会目標「高みを目指して それぞれを認め合い 役割を果たす わくわくする帯山西小学校」は、各学級から集まったアイデアを寄せ集めて、企画委員会で集約し、作っていったそうです。まさに、みんなの閃きと企画委員会の頑張りによってできたそうです。この児童会目標は、体育館と黄色門そばに掲げてあります。

学校全体の意見を集約し、児童会の方向性を示したりきまりを決めたりするのが代表委員会ですが、今後も代表委員会を設定し、昨年度の全校かくれんぼや6年生を送る会など全校児童で行う集会も考えていくそうです。発表の終わりは、今回の発表の内容に関するクイズもあり、企画委員会の活動について、再確認することができました。

そして集会の最後には、感想交流が行われました。2年生は「🔴帯西レッドの心が伸びました。それは、よく聞いてがんばったからです。」①「ぼくたち企画委員会のことをよく知ってもらってよかったです。」、4年生は「🟡帯西イエローの心が伸びました。わけは、企画委員会の人みんなのために、運動会の際に児童会目標を考えてくれたからすごいなと思いました。」①「確かに運動会の準備や児童会目標などで頑張ってくれていたことがわかりましたね。」と感想交流が行われ、企画委員長吉寄さんが「みんなが企画委員会のことについて知ってもらえてとてもよかったです。インタビューにもあったように、帯西レンジャーの心が伸びたと思います。今日紹介したような全校かくれんぼのようなイベントをたくさん企画していこうと思います。」と感想に答えてくれました。企画委員会の活動は、学校全体を動かすイベントも企画します。今後も子供たちの柔軟な発想力で、帯西の学校生活の充実と向上のために、よりよい学校文化を築いて欲しいと思います。

